

2027年(令和9年)3月期 第1四半期決算説明資料

ASEEDING THE FUTURE

人、地球、未来—すべての笑顔と健康のために

ASEED アシードホールディングス株式会社

【証券コード:9959】

1. 2027年3月期 第1四半期決算概況

2. セグメント別概況

3. 2027年3月期 業績予想

4. トピックス

APPENDIX. 当社グループ概要

1. 2027年3月期 第1四半期決算概況

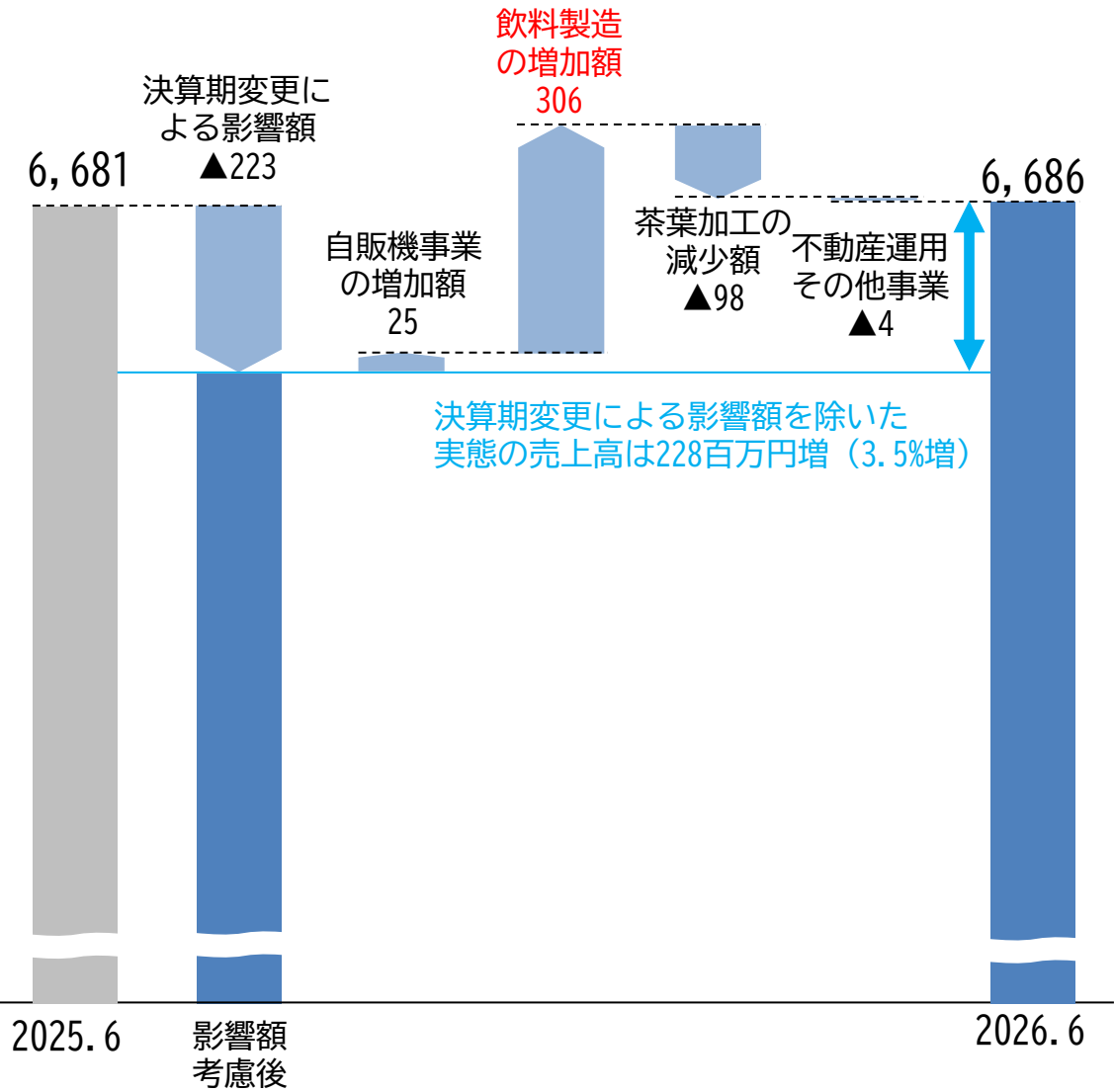
- ・ 自販機オペレーター業界においては、物価高による節約志向により、消費者の自販機離れの傾向は継続し、業界再編の動きが本格化している。
- ・ 低アルコール飲料(RTD)市場については缶チューハイ、ハイボールなど次々と新たな商品が投入され底堅く推移している。
- ・ 世界的な抹茶ブームは継続しているものの、原料茶葉の高騰の影響が製品価格の上昇につながり、海外産の製品との競争も激化しており、一時期ほどの圧倒的な強い需要は感じられない。

	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	増減率
売上高	6,681百万円	6,686百万円 (5百万円増)	0.1%
営業利益	300百万円	469百万円 (168百万円増)	55.9%
経常利益	319百万円	439百万円 (119百万円増)	37.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	176百万円	311百万円 (135百万円増)	76.9%

- ・ 売上高は前期の決算期変更(子会社3社)による上乗せ分(223百万円)を除くと実質3.5%の増収。
- ・ 第1四半期の経常利益としては2023年3月期の365百万円を上回る最高益で着地。
- ・ 第1四半期に株式を取得した3社((有)日東ベンディング中国、(株)フジタ商事、大熊乳業(株))については第1四半期の業績に影響なし。(7月より損益を連結。)
- ・ 当期よりVIHAMARK社の持分法投資損益を営業外にて計上。

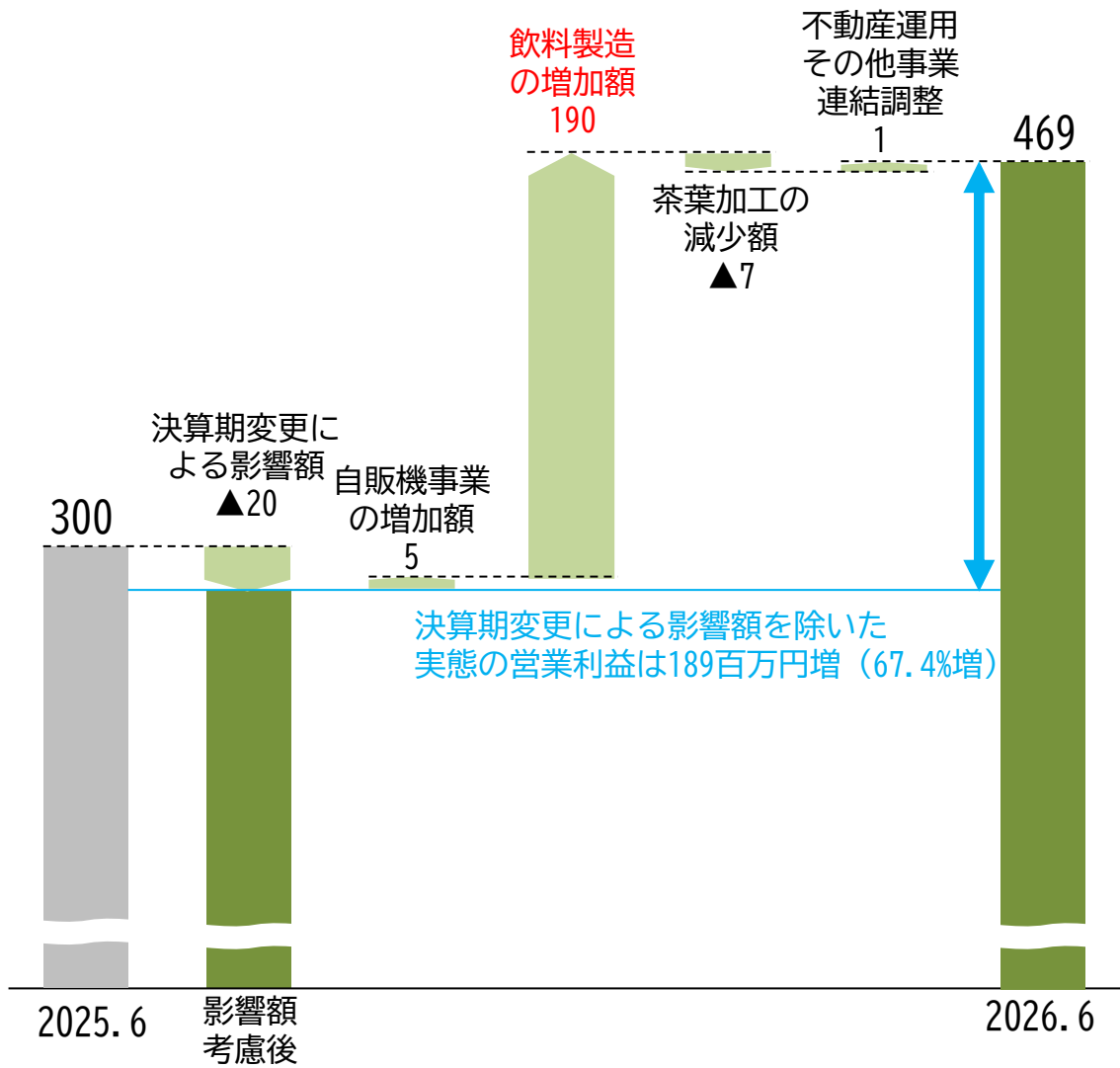
● 売上高

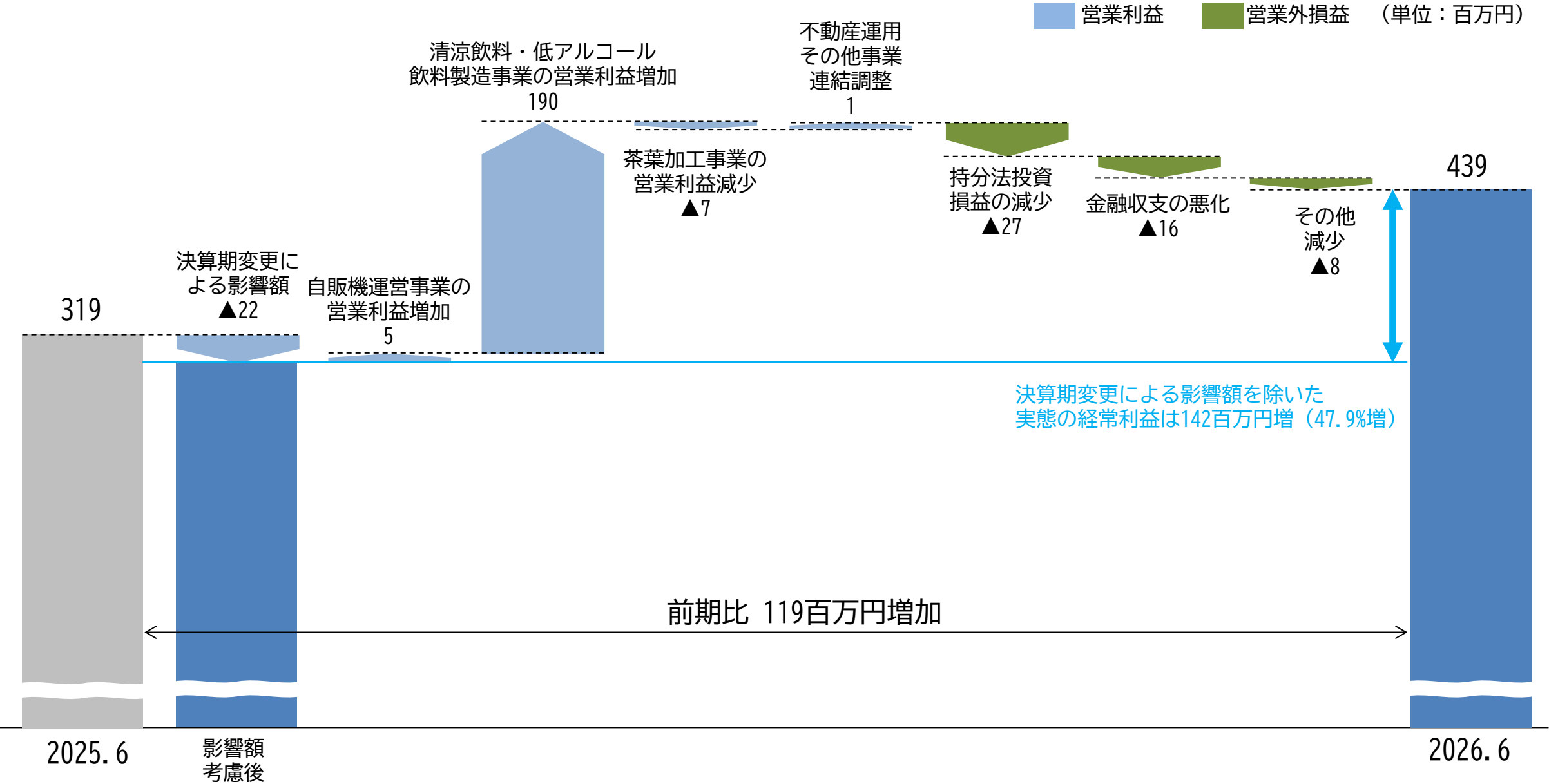
※前期にいいじま、静岡ローストシステム、マルサン萩間茶の決算期変更を行っております。



● 営業利益

(単位：百万円)





科 目	2026年3月期 (第4四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	増減	科 目	2026年3月期 (第4四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	10,139	10,750	610	流動負債	10,483	12,128	1,645
固定資産	14,006	15,251	1,245	固定負債	5,725	5,700	△24
有形固定資産	10,704	11,749	1,044	負債合計	16,208	17,829	1,620
無形固定資産	148	252	104	純資産の部			
投資その他の資産	3,153	3,249	95	株主資本	7,960	8,124	163
				その他の包括利益累計額	△24	47	71
				純資産合計	7,936	8,172	235
資産合計	24,145	26,001	1,856	負債純資産合計	24,145	26,001	1,856

- ・アシードブリュー(株)東広島飲料工場における工場建物及びソフトパウチ飲料製造ラインの新設による固定資産及び借入金の増加
- ・(有)日東ベンディング中国、(株)フジタ商事、大熊乳業(株)の株式取得による無形固定資産の増加

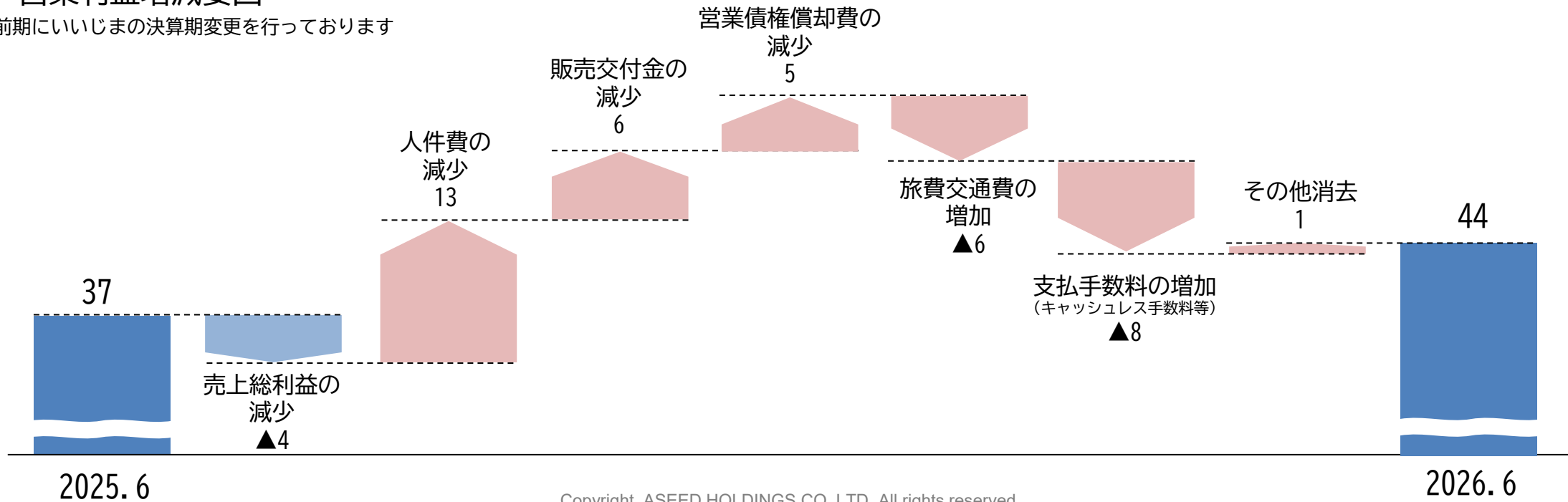
2. セグメント別概況

	売上高		営業利益	
	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)
自販機運営リテイル事業	3,535百万円	3,452百万円	37百万円	44百万円
・食料品の相次ぐ値上げが消費者の節約志向に影響を与え自販機離れを加速させ更なる業界再編の機運が高まる ・設置条件の改善や不採算機の引揚、M&Aによるシナジー効果の創造など利益率の改善に向けて取り組みを続ける ・業界再編の受け皿となるべく収益基盤の確立に注力				

● 営業利益増減要因

※前期にいいじまの決算期変更を行っております

売上総利益 販売管理費 (単位：百万円)

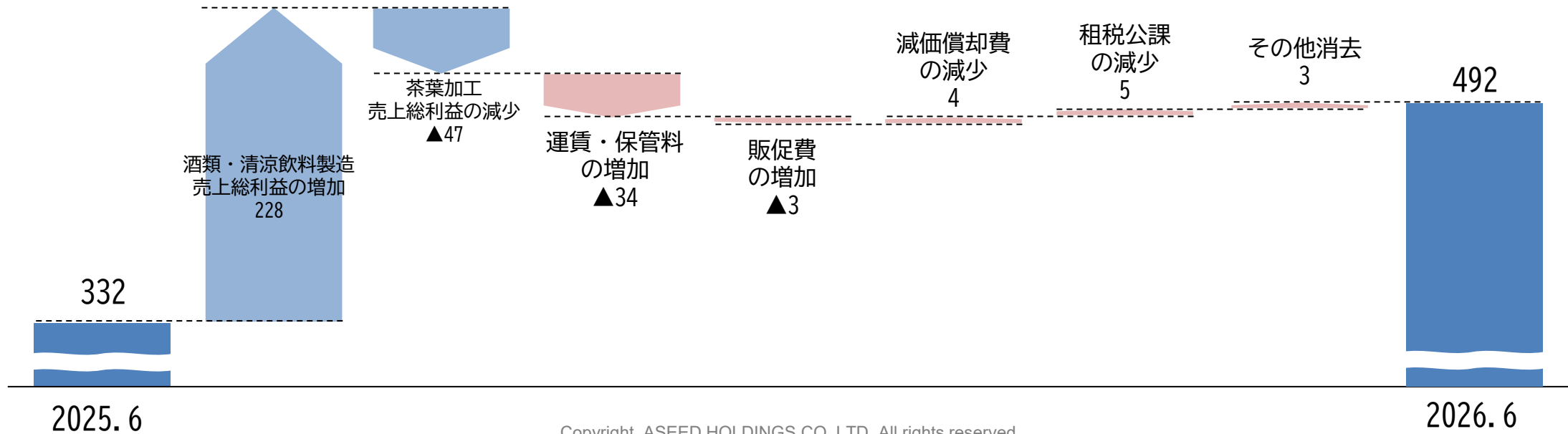


	売上高		営業利益	
	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)
飲料製造事業	3,037百万円	3,130百万円	332百万円	492百万円
・酒類・清涼飲料の製造数量が増加し、業績は前年の利益を大きく上回る水準まで回復 ・茶葉加工事業については、国産茶葉の高騰の影響を受け前年比で減益と業績的にはやや軟調に推移している ・自社ブランド商品の拡販を中長期の最重要事項に位置づけ、新商品の投入やマーケティング・販売戦略を強化				

● 営業利益増減要因

売上総利益 販売管理費 (単位：百万円)

※前期に静岡ローストシステム・マルサン萩間茶の決算期変更を行っております



	売上高		営業利益	
	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)
不動産運用事業	35百万円	34百万円	55百万円	55百万円
・当社およびアオンスエステート(株)を中心に所有不動産の運用 ・セグメント間の内部売上高を含めると売上高は98百万円				
その他事業	73百万円	68百万円	17百万円	17百万円
・東西の物流部門を強化するとともに、グループ内物流の内製化を進める				

3. 2027年3月期 業績予想

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	増減率
売上高	25,409百万円	27,000百万円 (1,590百万円増)	6.3%
営業利益	1,071百万円	1,150百万円 (78百万円増)	7.3%
経常利益	1,418百万円	1,500百万円 (81百万円増)	5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	909百万円	1,000百万円 (90百万円増)	9.9%

- ・ 自販機運営リテイル事業については、自販機ごとの採算管理を厳格化し増益を見込む。
第一四半期に株式を取得した3社について早期の収益化に取り組むが、今期の業績への影響は軽微。
- ・ 酒類・清涼飲料製造事業においては、製造加工数量増加基調の維持を目指す。イラン情勢の影響による、燃料費の高騰や原材料の更なる値上がりを吸収し、着実に業績を伸ばす。
- ・ 第4四半期にパウチ飲料製造工場の工事が完了する。製造ライン立ち上げ時の試験運転により費用が先行し、期間収益を圧迫することを想定。来期（2028年3月期）より本格稼働を予定。
- ・ 茶葉加工事業については需要は引き続き旺盛であるが、原料である茶葉の供給がひっ迫により足元の業績はやや伸び悩む。
- ・ 自社ブランド商品については、ブランド価値の創造に取り組むとともに、新商品を立て続けに発売し商品の拡充を目指す。プロモーション活動などへの投資を拡大する。
- ・ 金利上昇による営業外費用の増加を見込む。

4. トピックス

国産ストレート果汁使用のチューハイ「アスター 福島もも」が、英国開催の国際的RTD品評会「World Premix Awards 2026」Speciality Cocktail部門において最高賞“WORLD’ S BEST”を受賞しました。

同賞は、各カテゴリーのGold(金賞)受賞商品の中から最も優れた1商品に、最高賞である“WORLD’ S BEST”が授与されます。日本企業による受賞は今回が初となります。



当社の連結子会社であるアシード(株)が、自販機運営事業を展開するフジタ商事(株)・(株)大熊乳業の発行済株式の全株式を取得し、2026年6月19日付で子会社化

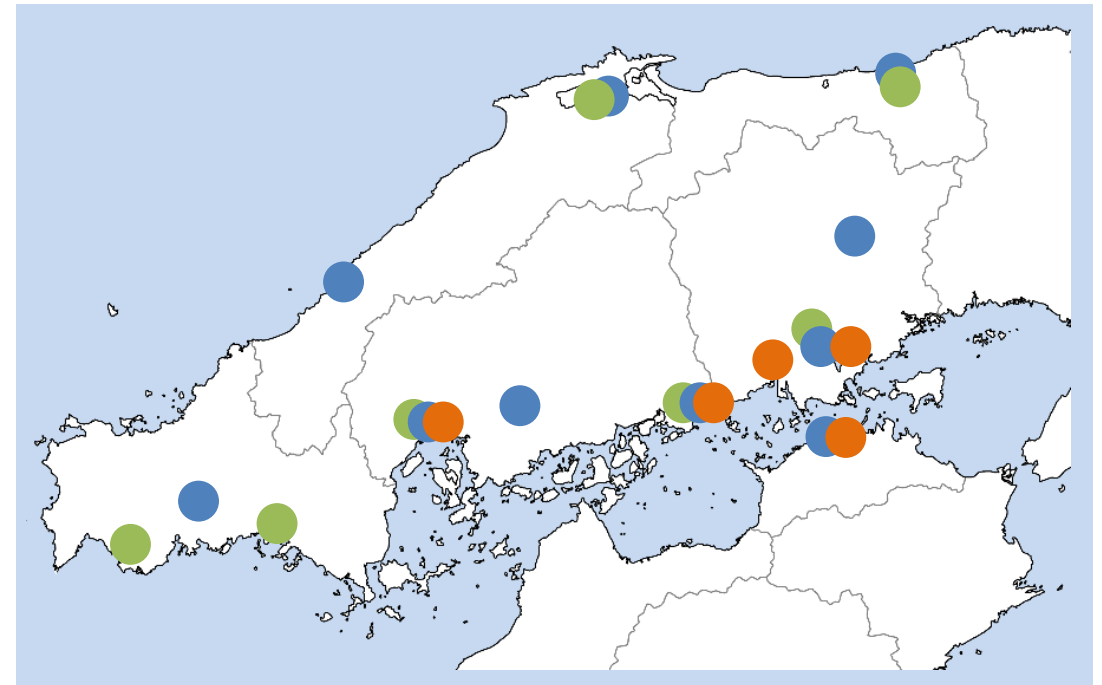
フジタ商事(株)・(株)大熊乳業は中四国(広島県、岡山県・香川県)で自販機運営事業及び、牛乳等の販売事業を展開しており、アシード(株)の営業エリアとも大部分が重複しています。各拠点の効率化と収益の底上げに資するため、当社グループの自販機運営リテイル事業の成長に寄与することが期待されます。

【3社合計 運営台数】

広島県	4,983台
岡山県	2,637台
山口県	1,032台
島根県	1,028台
鳥取県	556台
香川県	807台

【拠点所在地】

- アシード(株)
- (有)日東ベンディング中国
- フジタ商事(株)・(株)大熊乳業



商号	アシードホールディングス株式会社
所在地	広島県福山市船町7番23号
設立	1972年11月20日
代表者	代表取締役社長 河本 大輔
資本金	7億9,847万円
発行済株式数	13,495,248株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9959
連結子会社・孫会社	12社(2026年6月30日現在)
持分法適用 関連会社	(ベトナム) HaLong Beer And Beverage Joint Stock Company VIHAMARK GROUP JOINT STOCK COMPANY
従業員数	742名(グループ) 2026年3月31日現在



			セグメント売上高 連結売上に占める率 (2026年3月期)
自販機運営 リテイル事業	 アシード(株) (子会社)(株)いいじま (子会社)(有)日東ベンディング中国 (子会社)(株)フジタ商事 (子会社)大熊乳業(株)	飲料・食品自動販売システムの運営・販売	13,892百万円 54.7%
飲料製造事業	 アシードビバレッジプラス(株)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の企画開発・販売	11,086百万円 43.6%
	 アシードブリュー(株)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の製造	
	 (株)河村農園	健康茶などの加工商品化・販売	
	 静岡ローストシステム(株)	茶葉の受託加工・製造・販売	
	 マルサン萩間茶(株)	茶の加工及び販売、オンラインストアの経営	
不動産運用事業	 アオンスエステート(株)	不動産の開発・運営・賃貸及び管理	142百万円 0.6%
その他事業	 ロジックイノベーション(株)	納品代行・納品前作業代行・輸送業務・ 海外輸出入業務	288百万円 1.1%

※不動産運用事業のセグメント売上高・率には、アシードホールディングス(株)等の実績も含む

本資料に記載されている、当社グループの業績予想は、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報に基づく経営者の判断などを基礎としています。実際の業績は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、記載する見通しと異なる可能性がある事をご承知おきください。

また、当資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としており、当社株式の購入を勧誘するものではありません。投資の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

アシードホールディングス株式会社
経営企画グループ

T E L : 084-923-5552

E-mail : kikaku@aseed-hd.co.jp

U R L : <https://www.aseed-hd.co.jp/>